

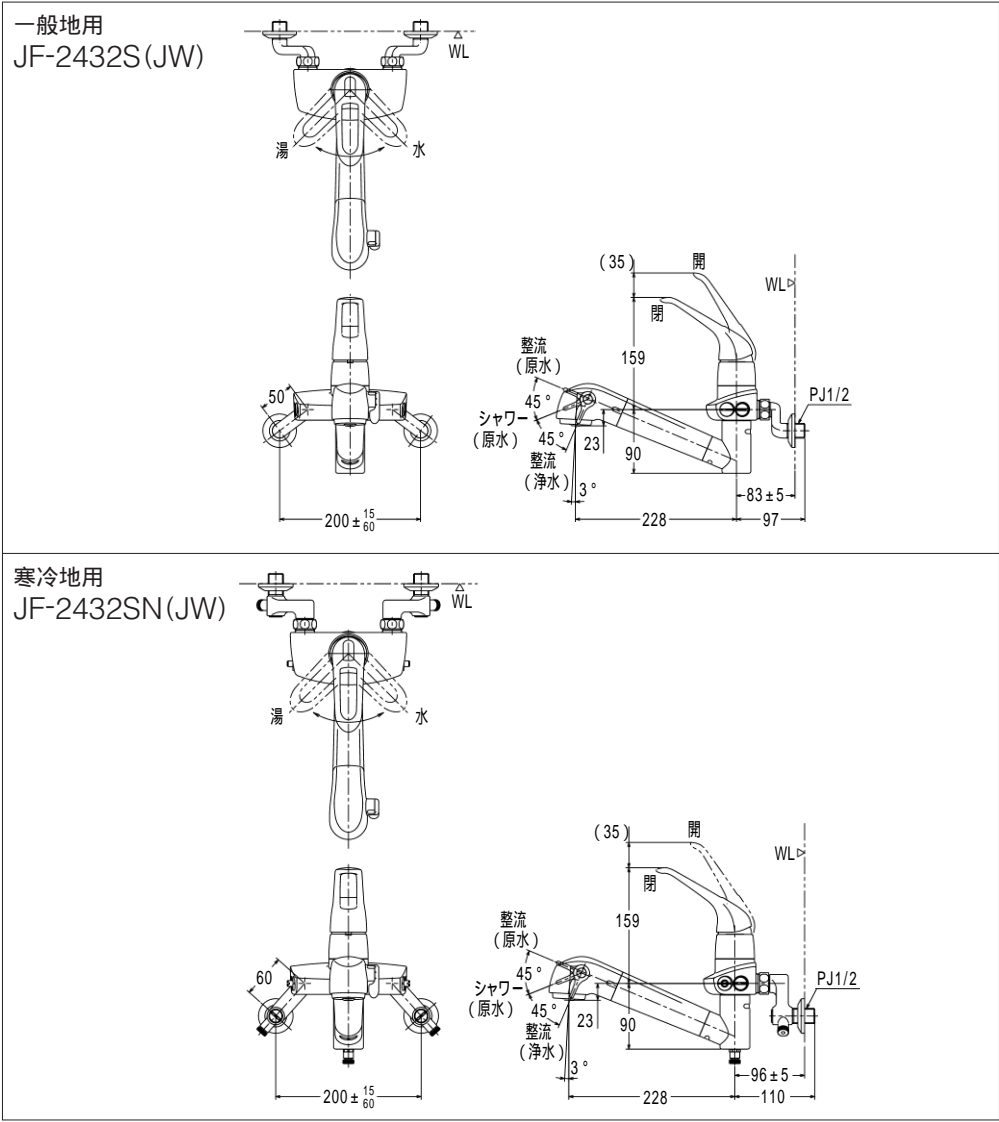
INAX

浄水器内蔵型シングルレバー混合水栓 オールインワン浄水栓

一般地用 JF-2432S(JW) 寒冷地用 JF-2432SN(JW)

商品の機能が100%発揮されるよう、
本説明書の内容を十分ご理解のうえ
正しく施工してください。
なお施工完了後、この施工説明書を
同梱の「ご愛用フォルダー」に入れて
お客さまにお渡しください。

施工完了図



安全上のご注意

お客さまへお願い
この説明書は水道工事店など専門の工事店の工事を必要とする「浄水器内蔵型シングルレバー混合水栓」の取付けについて説明しています。
取付工事は必ず工事店に依頼してください。ご不明な点がございましたら工事店または、当社支社やお客さま相談センターまでお問い合わせください。
取扱説明書はお読みになった後、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

取付工事店の方へお願い
ここに示した〔△警告・注意〕は状況により重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので必ず守ってください。
取付工事は、水道法、その他の法令および地方自治体の条例、規則など各種法規にしたがって行ってください。
工事または取扱いにあたって、ご不明な点がございましたら、当社支社やお客さま相談センターまでお問い合わせください。

△ 警告

水道水の水質基準に適合した水以外には取り付けないでください。

△ 注意

取付工事の前に

使い勝手や性能発揮のために本体部の流量調節栓で流量調節をしてください。とくに水圧が高い場合など、流量調節がされていないと漏水・破損の恐れがあります。
給水圧力は0.05～0.75MPa{ 0.5～7.6kgf/cm² }です。
給水圧力が0.75MPa{ 7.6kgf/cm² }を越える場合は、市販の減圧弁などで適正圧力(0.20～0.34MPa{ 2.0～3.5kgf/cm² }程度)に減圧してください。
本商品は日本水道協会の型式登録品ですので必ず同梱の浄水カートリッジと水栓をセットでご使用ください。
浄水カートリッジは取り付けずに水栓に浄水カートリッジの入った袋を付けたまま、お客さまにお渡ししてください。
浄水カートリッジを装着して通水確認をしないでください。水栓にはあらかじめ、通水検査用のダミーカートリッジが装着されています。

△ 注意

取付けに際して

同梱の部品以外は使用しないでください。
湯水を逆に配管しないでください。
水を出そうとしても、湯が出てヤケドをすることがあります。
給湯器の設定温度は60℃以下でお使いください。
ヤケドをする恐れがあります。
水栓に取付けてある袋には、浄水カートリッジが入っています。落としたり、ぶついたりしないでください。カートリッジが破損する恐れがあります。
各接続部は、水漏れのないように確実に接続してください。

取り付けた後で

最終点検時は配管接続部の水漏れ点検を十分に行ってください。
お客さまに引き渡す前に凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。
寒冷地仕様の水抜方法は、取扱説明書を参照ください。
凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。
作業完了後、この説明書を必ずお客さまにお渡しください。

使用条件

給水・給湯圧力は以下の条件を守ってください。
〔ガス給湯器(比例制御式：16号相当)と組み合わせる場合〕
給水圧力 { 最低必要圧力.....A + 0.06MPa{ 0.6kgf/cm² }
最高圧力.....0.75MPa{ 7.6kgf/cm² }
Aはガス給湯器の最低作動圧力です。

●測定条件

レバーハンドルは全開です。
ガス給湯器との組み合わせ条件が最も悪い冬期条件(給水温度5℃、吐出温度42℃)によるものです。
給水圧力はガス給湯器直前における流動時の静水圧です。
ガス給湯器の温度調節は最高温設定です。

〔貯湯式温水器と組み合わせる場合〕
給水・給湯圧力 { 最低必要圧力.....0.05MPa{ 0.5kgf/cm² }
最高圧力.....0.75MPa{ 7.6kgf/cm² }

●温度調節が容易で使い勝手をよくするために、給水圧力と給湯圧力の差を小さくしてください。

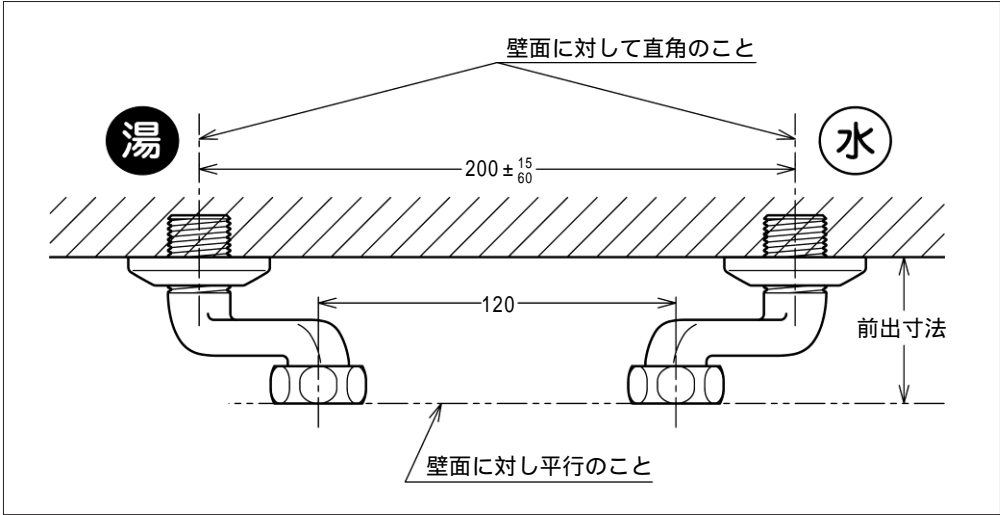
給水圧力が0.75MPa{ 7.6kgf/cm² }を超える場合は、市販の減圧弁等で適正圧力(0.20～0.34MPa{ 2.0～3.5kgf/cm² }程度)に減圧してください。
給湯に蒸気は使用できません。

施工前のご注意

給水は上水道に接続してください。
温泉水など異物を多く含む水には使用できません。
給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。
逆配管では表示通りに湯が出ません。
給湯配管はできるだけ短くし、必ず保温材を巻いてください。
開梱、取付けの際には商品の表面にキズをつけないように十分注意してください。
必ず配管中の異物を完全に洗い流してください。

施工方法

湯側、水側の取付脚は壁からの前出寸法が同一になるように取り付けます。



施工後の調節

以下の手順で調節してください。

1. 流量調節

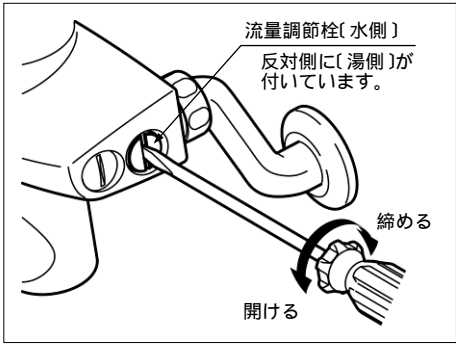
- (1)水圧が高い場合、過剰な流量で通水すると、切替レバーの表示と異なる箇所からも水が出たり、吐水口やヘッドの回転操作が重くなる場合があります。水栓の機能を十分発揮させるため、水圧が 0.2MPa ($2\text{kg}/\text{cm}^2$)を超える場合は、水側の流量調節栓を次の要領で調節してください。

- レバーハンドルを全開にします。
- 湯と水の量が同じになるように、水側の流量調節栓を調節します。

- (2)レバーハンドルを全開にしたときの原水(シャワー)の流量が、湯・水それぞれ約8L/minになるよう流量調節栓で調節してください。

[参考：浄水流量は約2.5～4L/minです]

浄水(整流)と原水(シャワー)がうまく切り替わらないときは、水圧が高く、過剰流量になっている場合があります。そのときは流量調節栓で適正流量に調節してください。

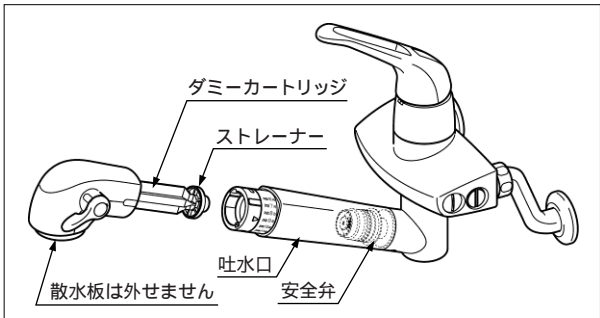


2. ストレーナーの掃除

ストレーナーは、ダミーカートリッジについています。通水検査後は以下の手順でストレーナーにたまったゴミを掃除してください。

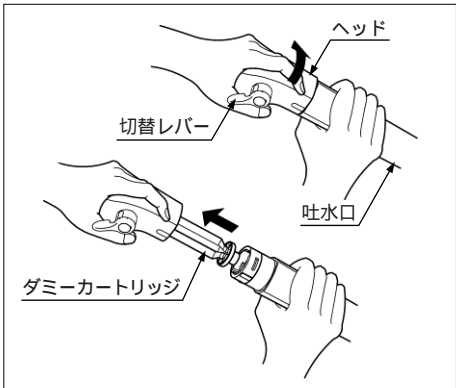
散水板は外せません。

吐水口内の奥に安全弁がついており、ダミーカートリッジが正しく装着されていないと、安全弁が作動し、水が出にくくなります。

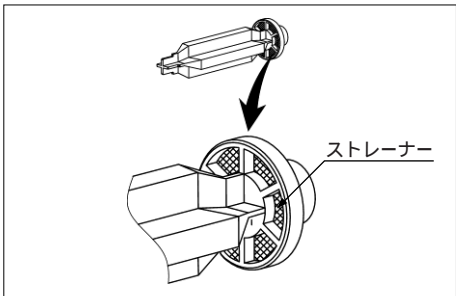


- (1)吐水口を押さえてヘッドを左に(45度)回して引き抜き、ダミーカートリッジを外します。

回すときに切替レバーに無理な力をかけないでください。

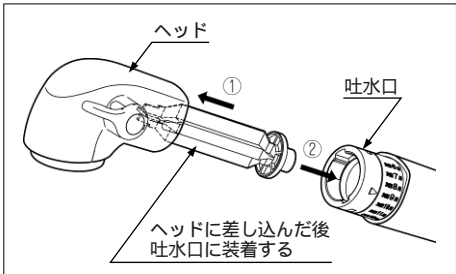


- (2)ダミーカートリッジのストレーナー部分についたゴミを掃除してください。

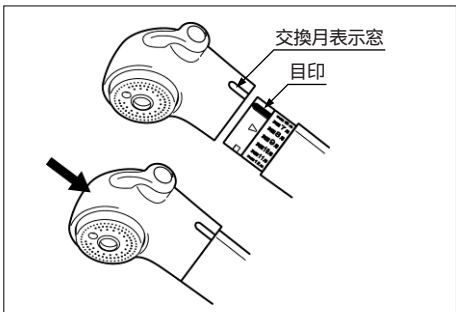


- (3)ダミーカートリッジを吐水口に差し込みます。

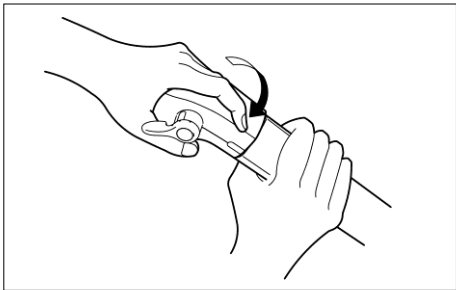
付属(カートリッジ袋内)の浄水カートリッジは、お客さまご自身が初めてご使用になるときにつけていただくので、引渡前に装着しないでください。



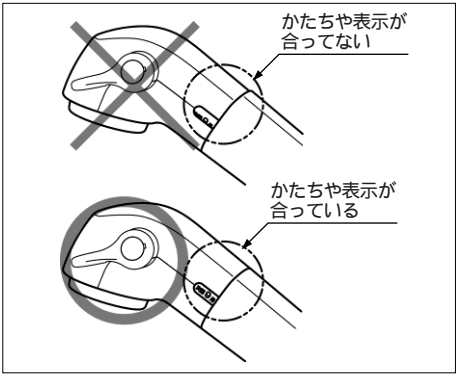
- (4)ヘッドを吐水口に差し込みます。交換月表示窓を吐水口の目印に合わせた位置で差し込んでください。



- (5)ヘッドを右に(45度)回し、取り付けます。回すときに、切替レバーに無理な力をかけないでください。



最後まで回ったことを確認してください。



引渡前の確認

引渡前および故障時の点検は以下の要領で行ってください。

この商品は、水を急に止めるときに発生する配管への衝撃をやわらげる機能が付いています。

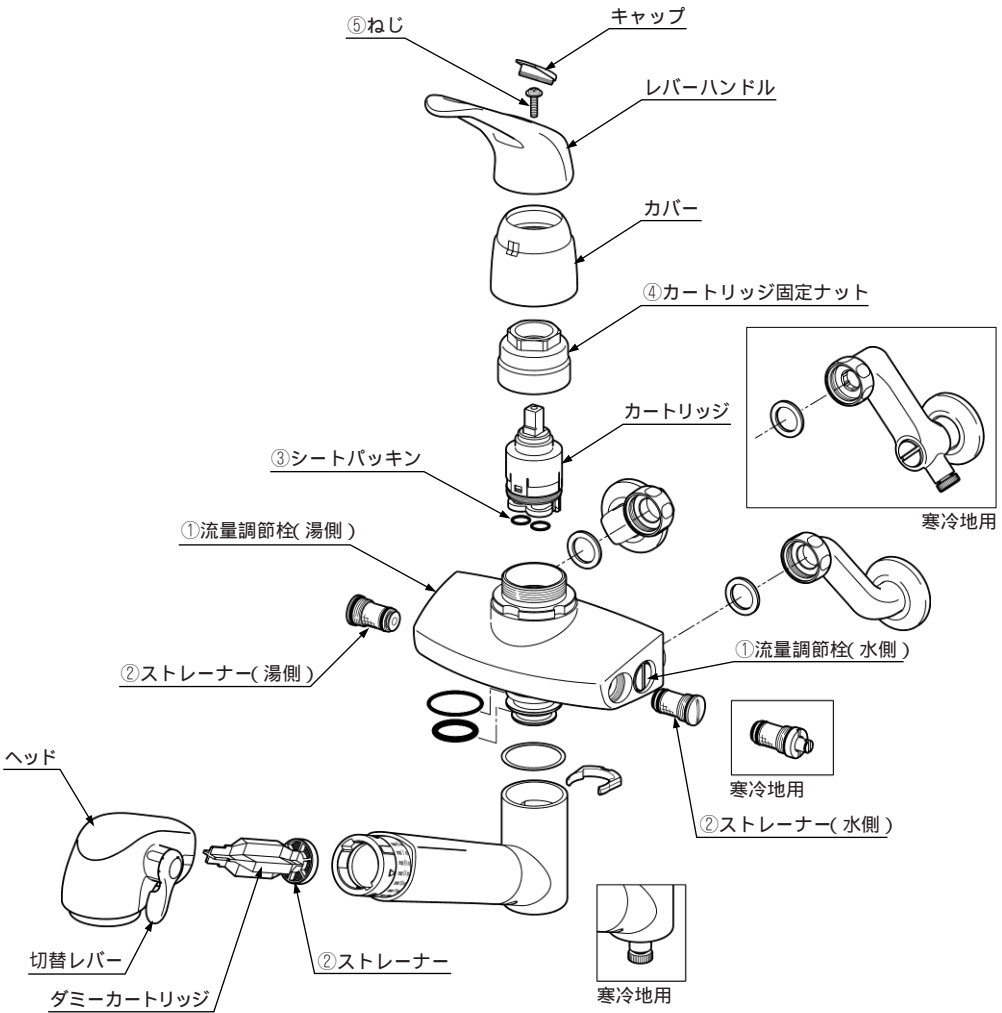
このため急に閉めようとするとハンドルが重く感じるがありますが故障ではありません。

ハンドルが重くならないように、ゆっくりと閉めてください。

故障と点検

点検箇所は下図を参照してください。

現象	点検内容	点検箇所	処置
流量が少ない	圧力は十分か？		「使用条件」の項参照。
	配管途中に大きな抵抗はないか？		抵抗となる障害物を取り除く。
	流量調節栓は十分開いているか？	①	流量調節栓を十分開く。
	ストレーナーにゴミ詰まりはないか？	②	ゴミ等を水で洗い流す。
	ダミーカートリッジが入っているか？正しく取り付けられているか？		「ストレーナーの掃除」の項参照。
水が止まらない	ゴミかみはないか？	③	ゴミ等を水で洗い流す。
	キズはないか？	③	キズがあれば部品を交換する。
	ゆるみはないか？	④	カートリッジ固定ナットを締める。締め過ぎるとレバーハンドルが重くなる場合がありますので注意してください。
切替レバーの表示と異なる箇所から水が出る 浄水がコップから飛び出す(水はねが多い) 使用中、レバーが自然に動く	流量調節はよいか？		「流量調節」の項参照。
希望の温度が得られない	圧力は十分か？		「使用条件」の項参照。
	流量調節はよいか？	①	「流量調節」の項参照。
	ストレーナーにゴミ詰まりはないか？	②	ゴミ等を水で洗い流す。
レバーハンドルがガタつく	ゆるみはないか？	⑤	ねじをしっかりと締める。



引渡し

水栓に浄水カートリッジの入った袋を付けたまま、お客さまに引き渡してください。

